

おおむた 市議会だより

第182号

平成24年度 第2回定例会

平成24年(2012年)11月1日発行

インターネット 議会中継配信中

大牟田市議会

検索

<http://www.city.omuta.lg.jp/shigikai/>

【主な記事】

- 議会と市政に対する貴重な要望を受ける/ぎかいのわだい(2・3ページ)
- 決算特別委員会を9月に実施/(2・3ページ、5ページ)
- 「食のまち おおむた」で地域おこしに頑張る学生たち/おおむた自慢(12ページ)



夕ごはんも自分たちで作るんだよ

～上内小学校で通学合宿(9月30日～10月5日)

通学合宿は子供達が数日間親元を離れ、地域の協力を得て炊事、掃除、寝泊りし、通学する取り組みで、今年度は上内小を含む5か所で開催されます。

上内小は今年度から小規模特認校制度が導入され、市内全域から就学が可能になりました。

もくじ

■ぎかいのわだい……………	2	■本会議運営のあらまし ほか……………	6
2回目の議会報告会を開催 決算特別委員会が生まれ変わりました		本会議運営のあらまし、発言者通告一覧、議案等の審議結果	
■委員会レポート ほか……………	4	■代表質問……………	8
都市環境経済委員会、総務委員会、教育厚生委員会、 議会改革特別委員会、決算特別委員会、議会日誌、 他議会からの行政視察		代表質問(4人)	
		■一般質問 ほか……………	10
		一般質問(5人)、トピックス、インフォメーション	
		■連載 おおむた自慢 ほか……………	12
		おおむた自慢、編集後記	



第2回目の議会報告会を開催しました

議会と市政に対する

三池地区公民館（8月22日）



吉野地区公民館（8月24日）



大牟田市議会として第2回目となる議会報告会を、8月4日～28日の間に市内8会場で開催しました。各会場には男性129名、女性52名、あわせて181名の市民の皆様にお越しいただ

きました。前回（159人）を上回る多くの参加と貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。皆様から寄せられた声は、丁寧に分類・整理し、今後の議会活動に活かしていきます。

報告会では、昨年の議会報告会で出された世界遺産登

録推進事業や光ケーブル回線などに関する市民意見に対する議会の対応と、平成23年度に全会一致で可決した3つの決議について報告を行いました。

その後、参加者からの質疑とご意見などを受けました。

平成24年度議会報告会 会場別参加者数

月 日	会 場	参加者数
8月4日(土)	三川地区公民館	16人
8月7日(火)	労働福祉会館	21人
8月9日(木)	駿馬地区公民館	19人
8月20日(月)	総合福祉センター	14人
8月22日(水)	三池地区公民館	28人
8月24日(金)	吉野地区公民館	40人
8月27日(月)	勝立地区公民館	11人
8月28日(火)	手鎌地区公民館	32人
合 計		181人

決算特別委員会が生まれ変わりました

－「早期実施」と「議会要望の集約」－

■「時期が遅い」「要望の列挙のみ」を改善

決算特別委員会は、例年は10月下旬から審査し、その後、約1カ月の間に委員長報告書を作成し、12月議会で決算認定の採決を行ってきました。しかしこの方法では、以下のような課題が浮き彫りになっていました。

具体的には、

- ① 10～11月は、予算編成作業の終盤に差し掛かっており、委員会で出された意見・要望が次年度予算に反映できる時期とは言えない。

- ② 数多く出される意見・要望を調整する場がなく、議会として合意形成を経た意見・要望となっていない。という二つの課題の改善のため、改めて決算特別委員会のあり方について検討を行いました。

■1カ月早めて実施

今年度から期間を前倒しして、9月議会の会期中に決算特別委員会を設置して審査を行いました。

■合意形成を図った意見・要望を取りまとめる

委員長報告書起草委員を中心に各会派の意見・要望の集約を行い、議会としての合意形成を図るよう努めた



貴重な要望を受ける

多数の参加とご意見を
ありがとうございました

■意見・要望の概要 は次号で

いただいた意見は、現在、集約・分類の作業中のため、次号で紹介する予定です。重要な意見等は、必要に応じて本会議や委員会などを通して、市政への反映を求めていくなどします。さらに、次の議会報告会でその対応と経過もお知らせする予定です。

意見・要望は6つに分類します

■分類① 市政に関する発言。議会(委員会など)で継続的に検討し、市当局へ報告するか、市長等へ要望・提案を行うべきもの。

■分類② 市政に関する発言。議員で情報共有し、市当局へ報告すべきもの。

■分類③ 議会に関する発言。議会(委員会など)で継続的に検討すべきもの。

■分類④ 議会に関する発言。議員で情報共有すべきもの。

■分類⑤ 個人的な陳情の類の発言。関係部署を案内するか個別対応すべきもの。

■分類⑥ その他。

■およそ8割の参加者が議会に関心を持つが、若い世代の参加は伸びず ~アンケートより

今回の議会報告会では、8会場で延べ169名の方にアンケートに回答していただきました。

報告会の内容については、「満足」「やや満足」と回答した人が合わせて65.7%(前回63.6%)と、昨年の割合を上回りましたが、この報告会で市議会への関心を「もてた」「少しもてた」と回答した人は合わせて79.9%(前回81.9%)と、昨年の割合を下回りました。

また、参加者の年代は、30代以下の割合が全体の1.2%(前回3.2%)と低調だったことを踏まえ、次の内容や周知方法についても、今後の議会改革特別委員会で検討を行っていきます。

今回のアンケート結果を参考にしながら、よりよい報告会を目指していきます。ご協力ありがとうございました。

参加者のアンケート集計結果(抜粋)

○年代

~20代(0.0%) 30代(1.2%) 40代(8.9%)
50代(14.2%) 60代(40.2%) 70代~(34.3%)
無回答(1.2%)

○開催日時について

参加しやすかった(76.9%)
参加しにくかった(11.8%) 無回答(11.2%)

○内容について

満足(13.6%) やや満足(52.1%)
どちらでもない(18.9%)
やや不満(5.9%) 不満(0.6%) 無回答(8.9%)

○市議会に関心が

もてた(45.0%) 少しもてた(34.9%)
どちらでもない(12.4%) もてなかった(1.2%)
無回答(6.5%)

結果、今回の委員会では、次の3つの項目について重点的な要望とすることで取りまとめました。

議会としての合意形成が図られた 3つの重点的な意見・要望

1. 食の安全対策については、食品衛生監視体制を充実されたい。
2. 固定資産税については、他市に比べて超過税率になっていることから、企業誘致、産業振興の観点からも、段階的に税率の逡減に努められたい。
3. 公立小・中学校の施設・設備については、早急に補修や改善の必要なところも十分な対応ができていないため、予算の確保を図って改善・充実に努められたい。

この3点の要望は、新年度予算案提出時まで、その対応について市当局から回答を求めることとしました。そのほかにも、一般会計52項目、特別会計2項目の意見・要望が取りまとめられ、これらについても善処を求めた上で、10月1日の本会議においてすべての決算議案を認定しました。(5ページに関連記事)

■さらなる改善を

今後とも、さらなる議会機能の強化や議員の質の向上のために、決算特別委員会の審査のあり方について、さらに検討を重ねて改善に努めていきます。

●所管：産業経済部、都市整備部、環境部、企業局、農業委員会事務局

踏切による交通混雑が解消

都市環境経済委員会

都市計画道路長溝線のアンダーパスが開通

都市計画道路長溝線は、市街地と有明海沿岸道路健老インター及び大牟田エコタウン（リサイクルプラザ等）が立地する臨海部を連絡する主要路線です。

このたび、ＪＲ鹿児島本線、西鉄天神大牟田線等を立体交差化（アンダーパス）する285メートル区間の工事が完了しました。

９月９日に開通式がとり行われ、同日午後５時から歩道の一部を除いて、通行できるようになっています。

立体交差化によって、長年の懸案事項であった踏切による交通混雑が解消されています。



長溝線アンダーパス

●所管：会計課、企画総務部、市民部、消防、議会事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局、公平委員会事務局、他の常任委員会に属しない事項

新消防庁舎の設計案について報告

総務委員会



新消防庁舎の外観（イメージ）

国道、歩道の安全な通行に配慮

９月６日の委員会において、市消防庁舎建設事業に伴う設計案の説明を受けました。同庁舎は、現在の場所に鉄筋コンクリート造４階建（庁舎棟）及び鉄骨造２階建（車庫棟）で新築されます。

車庫の前面には１６メートルのスペースを設け、大型の消防車両も国道・歩道の通行に支障なく入出庫ができるようになります。来署者用駐車場は車庫棟２階に３３台分が設置されます。

平成２５年の２月定例会で工事契約の提案がなされ、３月に着工、２６年１０月末に完成する予定です。

議会日誌（７月～１０月１日）

月	日	会 議 名
7	2	議会改革特別委員会
	11	総務委員会
	13	議会改革特別委員会
	17	議会報編集委員会
	27	教育厚生委員会、議会改革特別委員会
8	7	各派代表者会、議会運営委員会
	30	都市環境経済委員会
	31	各派代表者会、議会運営委員会
9	5	議会運営委員会、議会改革特別委員会
	6	総務委員会、教育厚生委員会、都市環境経済委員会、議会報編集委員会
	7	第２回定例会本会議（開会）
	13	第２回定例会本会議（質疑質問①）
	14	第２回定例会本会議（質疑質問②）
	18	第２回定例会本会議（質疑質問③）、請願等調整委員会
	19	総務委員会、教育厚生委員会、都市環境経済委員会
	21	各派代表者会、議会運営委員会、第２回定例会本会議（採決（決算議案除く））、決算特別委員会、議会報編集委員会
	24	決算特別委員会
	25	決算特別委員会
	26	決算特別委員会、決算特別委員会委員長報告書起草委員会
	27	決算特別委員会委員長報告書起草委員会
10	28	決算特別委員会委員長報告書起草委員会
	1	決算特別委員会委員長報告書起草委員会、議会運営委員会、第２回定例会本会議（決算議案採決）

他議会からの行政視察

（７月～９月）

7月 18日 岡山県井原市（指定管理者の管理運営に対する検証）、24日 愛知県春日井市（エコタウン事業）

8月 1日 神奈川県伊勢原市（定住自立圏）、7日 東京都世田谷区（議会改革）、8日 大阪府守口市（生活保護制度における教育環境整備事業）、9日 千葉県松戸市（スポーツ振興計画）、23日 青森県弘前市（大牟田市災害時等要援護者支援制度）

9月 なし



●所管：保健福祉部、教育委員会

中学校給食の実施方針が決まる

教育厚生委員会

■大牟田市中学校給食実施方針について

9月6日の委員会で、大牟田市中学校給食実施方針についての報告を受けました。この方針は、中学校給食検



建設予定地の旧諏訪小学校

討会議からの提言を踏まえて作成されており、その中の基本方針には、完全給食の実施や食育の推進等が記載されています。中学校給食はセンター方式で実施し、センターは旧諏訪小学校跡地に建設され、開始時期は平成27年4月となっています。

■障害者虐待防止法の施行について

同日の委員会で、障害者虐待防止法の施行についての報告を受けました。この法律には、障害者虐待の禁止やその予防、早期発見に加え、養護者の負担軽減のための支援等、障害者虐待の防止に関する具体的な仕組みが規定されており、10月1日から施行されました。

●所管：議会改革に関すること

市民に寄り添う、さらなる議会活動を目指して

議会改革特別委員会

■嬉野市議会の先進的な議会改革の取り組みを視察

8月29日に、佐賀県嬉野市議会の議会改革の取り組みについて視察を行いました。嬉野市議会は、今年度日経グローバル誌が、全国810市区議会を対象に情報公開や住民参加などの取り組みを調べた第2回議会改革度調査で、全国で第3位（本市55位）、九州では第1位（本市8位）になっています。

特徴的な取り組みの一つに、各常任委員会が種々の機会を通じて行う各種団体との意見交換会があり、さまざまな意見・要望等を聴取されています。また、各常任委員会が政策提案し、議員全員で構成する政策討論会で論議した上で、議会の政策提言として市行政に提出すると

いった取り組みがありました。

本特別委員会も、常に市民を意識した改革に取り組み、市民の声を市政に反映させる市議会を目指していきます。



嬉野市議会より説明を受ける

平成23年度各会計決算を認定

決算特別委員会

■固定資産税の税率逡減などを求める

議員全員で構成する決算特別委員会（徳永春男委員長、森田義孝副委員長）を設置し、平成23年度一般会計決算をはじめとする各会計決算議案9件について、9月21日から26日までの実質4日間で審査を行いました。

審査の結果、食品衛生監視体制の充実、固定資産税の税率逡減、学校施設の早急な補修・改善等にかかる意見要望などを盛り込んだ委員長報告書を取りまとめ、10月1日の本会議ですべての決算議案を認定しました。

決算議案の審査は例年は10月下旬に行い、12月議会で採決をしてきましたが、既にこの時期は次年度の予算編成作業の終盤であることから、議会の意見・要望を次

年度予算編成へ反映することを求めるため、今年度から9月定例会中に審査することにしました。（2・3ページに関連記事）

平成23年度各会計決算の概要（1万円未満四捨五入）

一般会計及び特別会計		歳入	歳出
一般会計		538億 835万円	529億2,830万円
特別会計	国民健康保険	167億4,333万円	167億1,807万円
	土地区画整理事業	8,371万円	8,371万円
	住宅新築資金等貸付事業	55万円	55万円
	介護保険	119億3,888万円	119億3,640万円
	後期高齢者医療	19億1,215万円	18億8,190万円
	病院事業債管理	18億7,578万円	18億7,578万円
事業会計		収益的収入	収益的支出
水道事業		26億3,755万円	23億9,791万円
公共下水道事業		26億 785万円	23億3,719万円



本会議運営のあらまし

■大牟田観光プラザ条例の改正、(仮称)中心市街地にぎわい交流施設新築工事請負契約などの議案を審議

平成24年度第2回定例会は9月7日に招集され、10月1日までの25日間の会期で運営しました。

今議会で審議された議案等は、決算の認定、補正予算、条例の改正（大牟田観光プラザ条例など）、請負契約の締結（大牟田市（仮称）中心市街地にぎわい交流施設新築工事）などの議案18件、報告8件、人権擁護委員候補者の諮問3件、選挙管理委員及び選挙管理委員補充員の

選挙2件、発議12件の合計43件でした。（各会計決算の認定については5ページを参照）

本会議では、いじめ問題、中心市街地活性化、近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン、RDF発電事業等の諸課題について、各会派の代表質問4名を含む9名の議員が登壇し、市長をはじめ執行部に質問しました。

本会議最終日までに、報告8件、意見書案3件を除いた議案等を原案どおり可決、認定、異議なき旨答申、または決定して、本定例会を閉会しました。

平成24年度大牟田市議会第2回定例会 発言者通告一覧

（青い網掛け）は一問一答制により質問、水色の網掛けは再質問からの一問一答制により質問、★は8ページ以降に主な内容を掲載）

①平嶋慶二議員 代表質問（社民・民主・護憲クラブ）



■九州北部豪雨災害の教訓と防災・減災について（1）★本市の防災・減災対策の見直し（2）被災地への今後の支援策 ■消防行政推進と市民の安心安全について（1）★筑後地域消防通信指令事務（2）消防団の現状と今後の対応（3）★消防団活動における環境改善（4）東日本大震災を教訓とした消防団の退避指導 ■中心市街地活性化について（1）★活性化に向けた連携と協力（2）中心市街地のランドデザインの策定（3）新栄町駅前地区市街地再開発事業 ■近代化産業遺産を活用したまちづくりプランについて（1）★世界遺産の意義は何か（2）★三池炭鉱を支えたさまざまな思い ■今後のRDF発電事業計画について

②大野哲也議員 代表質問（公明党議員団）



■防災・減災の取り組みについて（1）橋梁長寿命化修繕計画（2）地域防災計画 ■健康増進の取り組みについて（1）★介護予防の充実策の実態（2）★国民健康保険の医療費抑制のための具体策（3）総合健診体制の推進（4）生活習慣病対策 ■★近代化産業遺産を活用したまちづくりプランについて（1）市民の合意形成の必要性

③橋積和雄議員 代表質問（日本共産党議員団）



■市長の政治姿勢について（1）★消費税大増税と社会保障制度改革推進法（2）原発再稼働問題（3）★TPP（環太平洋経済連携協定）参加問題（4）本市における来年度予算編成（5）市民負担の軽減・対策を求める決議への対応 ■これからのRDF発電事業について（1）今後の事業計画の展望（2）★RDFセンターでの事故対策と総括 ■近代化産業遺産を活用したまちづくりプランについて（1）★市民意見と議会決議のプランへの反映（2）世界遺産登録推進事業関連費用 ■孤独死・孤立死の現状と防止対策について

④田中正繁議員 代表質問（自由民主党議員団）



■市長の政治姿勢について（1）★今後の財政見直し（2）★メガソーラー事業の進め方 ■防災計画と地域コミュニティについて（1）★公共インフラの整備（2）★防災計画と地域コミュニティのかかわり ■快適な生活環境の整備について（1）★道路整備と交通安全対策（2）★地域の買い物難民及び交通弱者対策 ■★近代化産業遺産を活用したまちづくりプランに基づく今後の進め方について

⑤古庄和秀議員 一般質問（社民・民主・護憲クラブ）

■行政サービスの原点について（1）★紙おむつ支給基準変更後の個別対応の現状（2）職務上請求用紙による請求と個人情報の保護



■障害者の地域生活の充実について（1）各種相談体制の充実と地域生活への移行（2）障害者が65歳になったときの本市の対応（3）★障害者虐待防止法施行に伴う体制整備 ■障害者雇用の促進について（1）★障害者の法定雇用率の改定に対する行政としての対応（2）障害者の法定雇用率の改定に対する民間企業への対応（3）国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律施行への対応 ■避難所のあり方について（1）指定避難所における福祉避難室的な機能の必要性

⑥今村智津子議員 一般質問（公明党議員団）



■健康対策について（1）★健康づくりで社会に貢献・健康ポイント制度（2）肺炎球菌ワクチン等の活用による予防接種の普及 ■教育行政について（1）公立小中学校の非構造部材の耐震点検（2）小中学校施設の窓ガラスなどの飛散防止対策（3）いじめ問題 ■子育て支援策について（1）子ども・子育て支援制度への対応

⑦入江裕二郎議員 一般質問（自由民主党議員団）



■市長の政治姿勢について（1）★九州北部豪雨に伴う三池港への漂着ごみへの対応、並びにごみ処理の今後の見通し（2）★にぎわい交流拠点としての三池港と近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン ■生活保護制度について（1）住居費の代理納付制度の適切な運用（2）バイク所有者に対する必要な指導・助言

⑧森 電子議員 一般質問（自由民主党議員団）



■★手鎌南川河川改修事業の今後の見直しについて ■教育行政について（1）児童・生徒の安心安全な通学（2）★いじめ問題への対応（3）★スクールソーシャルワーカーの配置存続・拡大 ■九州新幹線新大牟田駅の現状と利用促進のための環境整備について（1）乗降客数の推移（2）暫定的な駐車場整備（3）★観光情報発信等施設のあるべき姿 ■中心市街地の活性化策について（1）まちづくり担当副市長の中心市街地活性化に対する決意（2）中心市街地ランドデザイン策定と行政のかかわり（3）（仮称）中心市街地にぎわい交流施設の機能充実

⑨山口雅弘議員 一般質問（自由民主党議員団）



■大津市における中学生いじめ自殺事件について（1）大津市長の対応に対する市長の所感（2）★本市におけるいじめ対策 ■市長の政治姿勢について（1）財政運営と予算編成のあり方（2）RDF発電事業の今後の展望（3）今後のまちづくりにおける第3セクター及び財団法人の活用策



平成24年度大牟田市議会第2回定例会 議案等の審議結果一覧

議案等名			会派等略称(詳細下記)	自民	公明	護憲	共産	無 所 属			審議結果
				8人	5人	5人	3人	猿渡軍紀議員	城後正徳議員	吉田康孝議員	
議案	第13号	平成23年度大牟田市一般会計決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	認定	
	第14号	平成23年度大牟田市国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	認定	
	第15号	平成23年度大牟田市土地区画整理事業特別会計決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	認定	
	第16号	平成23年度大牟田市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	第17号	平成23年度大牟田市介護保険特別会計決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	認定	
	第18号	平成23年度大牟田市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	認定	
	第19号	平成23年度大牟田市病院事業債管理特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	第20号	平成23年度大牟田市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	第21号	平成23年度大牟田市公共下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	第22号	平成24年度大牟田市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	全会可決	
	第23号	平成24年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	全会可決	
	第24号	平成24年度大牟田市介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	全会可決	
	第25号	平成24年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	全会可決	
	第26号	大牟田観光プラザ条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	全会可決	
	第27号	大牟田市乳幼児医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	全会可決	
	第28号	大牟田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	全会可決	
第29号	請負契約の締結について(大牟田市(仮称)中心市街地にぎわい交流施設新築工事)	○	○	○	×	○	○	○	多数可決		
第30号	過疎地域自立促進計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	全会可決		
諮問	第1号	人権擁護委員候補者の推薦について(金子福久美氏)	○	○	○	○	○	○	○	異議なし	
	第2号	人権擁護委員候補者の推薦について(奥園公明氏)	○	○	○	○	○	○	○	異議なし	
	第3号	人権擁護委員候補者の推薦について(東隆也氏)	○	○	○	○	○	○	○	異議なし	
発議	第7号	脱法ドラッグ、とりわけ脱法ハーブに対する早急な規制強化等を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	全会可決	
	第8号	気象事業の整備拡充を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	全会可決	
	第9号	税制全体の抜本改革の確実な実施を求める意見書案	○	○	○	×	○	○	○	多数可決	
	第10号	中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書案	○	○	○	×	○	○	○	多数可決	
	第11号	自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	全会可決	
	第12号	香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書案	○	○	×	×	○	○	○	多数可決	
	第13号	李明博韓国大統領の言動に抗議し、政府に対韓国外交の見直しを求める意見書案	○	×	×	×	○	○	○	少数否決	
	第14号	垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイの配備及び低空飛行訓練の撤回に関する意見書案	×	○	○	○	×	×	×	多数可決	
	第15号	税と社会保障の一体改革の中止・撤回を求める意見書案	×	×	×	○	×	×	×	少数否決	
	第16号	原子力発電所の再稼働に反対する意見書案	×	×	○	○	×	×	×	少数否決	
第17号	TPP(環太平洋経済連携協定)交渉参加に対し反対を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	全会可決		
第18号	教育予算の拡充を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	全会可決		
選挙	第1号	大牟田市選挙管理委員の選挙(小山弘之氏、月山和美氏、吉田義春氏、平塚充昭氏)	○	○	○	○	○	○	○	決定	
	第2号	大牟田市選挙管理委員補充員の選挙(田中美加子氏、徳永末吉氏、松永浩氏、豊武数実氏)	○	○	○	○	○	○	○	決定	
報告	第8号	平成23年度大牟田市健全化判断比率について	報告を受けた (採決なし)								
	第9号	平成23年度大牟田市水道事業会計資金不足比率について									
	第10号	平成23年度大牟田市公共下水道事業会計資金不足比率について									
	第11号	地方独立行政法人大牟田市立病院の業務実績に関する評価結果について									
	第12号	地方独立行政法人大牟田市立病院の事業報告について									
	第13号	地方独立行政法人大牟田市立病院の事業計画について									
	第14号	株式会社花びらすの事業報告について									
	第15号	株式会社花びらすの事業計画について									

会派名称	所属議員
自民(自由民主党議員団)	光田 茂、入江裕二郎、境 公司、田中正繁、塚本二作、徳永春男、西山照清(議長)、森 竜子、山口雅弘
公明(公明党議員団)	大野哲也、今村智津子、塩塚敏郎、平山伸二、三宅智加子
護憲(社民・民主・護憲クラブ)	古庄和秀、平嶋慶二、平山光子、松尾哲也、森田義孝
共産(日本共産党議員団)	高口講治、北岡あや、橋積和雄

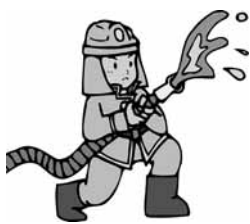
■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある者に起立を求め、反対の意思のある者の態度を確認することはありません。本表については、起立した会派(または議員)を○と表記し、着席の会派(または議員)を×と表記します。なお、空白は欠席または採決の棄権を表します。また、議長は採決に加わることはできません。



消防行政の推進と 消防団環境の整備を 中心市街地の活性化は喫緊の課題

社民・民主・護憲クラブ 平嶋 慶二議員

問 筑後地域8消防本部合同による通信指令事務の共同運用準備が進められているが、指令台で119番通報を受けた際、場所の特定に時間がかかり、対応が遅れたりしないのか。



答 共同運用の指令台は、運用前に習熟研修を行い、目標物もデータ登録が可能のため、他の消防本部の職員が受けても、通報場所の特定に時間を要することはない。

問 消防団格納庫に会議室やエアコンがないところがあると聞が、消防団活動の環境改善について聞きたい。

答 本年度中に作成する消防団活性化計画において、設備や資機材等の充実についても検討を進めたい。

問 今回の九州北部豪雨は未曾有の災害であった。この教訓に基づいた本市の防災・減災の考えを聞きたい。

答 今回の災害の教訓を踏まえ、25年度末までに地域防災計画を抜本的に見直すことにしている。

問 中心市街地、とりわけ新栄町地区の活性化は早急に解決すべき重要課題であり、一日も早い実現を望むものである。中心市街地活性化の取り組みには、様々な団体との連携・協働も必要だが、見解を聞きたい。

答 今後も商工会議所と連携し、様々な団体と協働して、中心市街地活性化に向けて全力で取り組む。

問 世界遺産登録に取り組む意義が市民に伝わっていないと思われるが、世界遺産の意義とは何か。

答 三池炭鉱の関連施設が世界遺産になれば、国家や民族を超え、かけがえのない人類共通の財産として認められることになる。また、ユネスコ憲章にもある平和構築につながっていくものではないかと考える。

問 三池炭鉱関連で犠牲になられた方のみたまを心から慰霊することが礼節ではないか。

答 慰霊碑の供養をされている関係者の皆様に敬意を表するとともに、慰霊祭等に関しては、できる限りの対応をさせていただきたい。

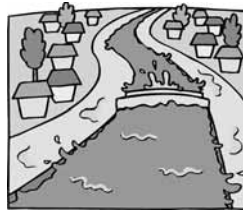


生命を守るための公共投資で 防災力の強化と経済の活性化を

公明党議員団 大野 哲也議員

問 市長は我が地域の歴史性、地域性をどう認識し、防災計画に反映していくつもりなのか聞きたい。

答 過去に台風や大雨で被害を受けたことがある。地理的な特性として、東には丘陵地、西は干拓地や埋立地が見られ、主要な河川は東から西へ流れ、干満の差が激しい有明海に注いでいる。そのため、各地域の異なる地理的条件を考慮した校区别の防災カルテを作成していく。



問 防災無線、瞬時警報システムなど、本市の災害情報の伝達方法の現状と課題について聞きたい。

答 一つの方法では情報の伝達に限界があることから、多様な手段を講じている。具体的には、屋外拡声器をつけた防災行政無線、全国瞬時警報システム、携帯電話のエリアメールサービス、広報車、戸別訪問などがある。

問 介護予防の充実策の実態について聞きたい。

答 本年2月に日常生活圏域二一ズ調査を前倒しで行い、その折予防教室への参加を働きかけた。また、10月から地域包括支援センターを4カ所から6カ所に充実させ、取り組みを強化する。さらに、介護予防強化推進事業や地域健康力アップ事業、地域での学習会等も実施する。

問 国民健康保険の医療費抑制のための具体策の現状と課題について聞きたい。

答 医療費の適正化では、レセプト点検の強化やジェネリック医薬品の使用促進を図っている。保健事業では、国保30代健診事業の充実と人間ドックの実施、地域健康力アップ推進事業などを行い、医療費の伸びを抑え、国民健康保険事業会計の安定化を図っていく。

問 近代化産業遺産を活用したまちづくりに向けて、市民理解を得るための方策について聞きたい。

答 23年度はセミナー、地域説明会、出前講座、施設の定期公開などの啓発・公開事業を87回実施し、延べ4,850名の参加を得た。今後は説明会等に加え、地域と連携して施設見学の機会を増やすなど、市民と一緒に進めた取り組みも広げていき、市民理解を得ていきたい。



RDFセンターでの死亡事故は 市の責任を明確にした 総括が必要だ

日本共産党議員団 橋積 和雄議員

問 RDFセンターでの死亡事故は重大な事故であり、徹底した原因究明を行うとともに、再発防止策を聞きたい。

答 大牟田労働基準監督署から、安全衛生指導書による行政指導がなされている。それを受けて、清掃時にコンベヤーの停止を確認して作業すること、事故現場のコンベヤー一点検口に防護柵を設置すること、搬送コンベヤーの安全作業基準、手順書を作成するなどの対策を講じている。

問 消費税の増税は、地域経済をどん底に突き落とす。きっぱりと反対の態度をとるべきだと思うがどうか。

答 希望が持てる社会保障の実現が求められており、国と地方の安定財源が確保されることや、増税分5%のうち1.54%が地方分として確保された点は一定評価できる。しかし、消費税率の引き上げについては、低所得者への十分な対策を講ずる必要があり、高齢化が進む本市においては、特に市民生活への影響を危惧している。

問 農業・医療・雇用を壊すTPP参加に、きっぱりと反対の意思表示をすべきだと思うがどうか。

答 TPPについては、すべての品目について関税が撤廃され、特に農業への影響が大きいと言われている。貿易立国の我が国にとって、TPP参加は大変難しい問題であり、本市の農業と地域の産業をどう守って推進していくのかということを念頭に置き、国の動向を注視していきたい。

問 近代化産業遺産を活用したまちづくりプランについては、中国人・朝鮮人の強制連行、強制労働などの歴史をきちんと記述・検証し、プランに生かしていくべきだと思うがどうか。

答 囚人労働や、強制労働、炭じん爆発などの書き込みが足りないのではないかという御指摘をいただいている。そういった意見も踏まえ、中国や朝鮮からの炭鉱労働のための連行、三川坑の炭じん爆発、三池争議といった出来事についても、歴史的記載の中で追加記載を行っており、表現については修正などの検討をしていきたい。



財政構造強化指針のポイントと 今後の財政見通しは

自由民主党議員団 田中 正繁議員

問 財政構造強化指針はどこに重きを置いて進めていくのか。また、今後の財政見通しについて聞きたい。

答 26年度には再び単年度赤字が生じる見込みとなっており、国の動向や本市の状況等を踏まえ、事業の実施に必要な財源を確実に見積もり、新たに財政計画を策定して、今後の見通しを説明したい。指針で定めたルールを守り、財政の抜本的改革に取り組むとともに、将来への投資を行い、地域活性化と市民生活向上に努める。

問 メガソーラー事業の方向性について聞きたい。

答 同事業を初め、エネルギー関連産業の振興に取り組み、企業誘致や産業振興に努め、情報発信を続けていく。

問 指定避難所の耐震化の状況と収容人数、及び手鎌南川河川改修事業の今後の方向性について聞きたい。

答 指定避難所43施設130棟の耐震化率は64.6%、収容人数は最大3万2千人であり、小中学校は27年度までに耐震化を行う。昭和49年築の市民体育館も整備の必要性を認識している。手鎌南川河川改修事業は、調節池設置と河川拡幅を計画しており、地域に説明し事業を推進する。

問 防災計画と地域コミュニティーのかかわりはどうか。

答 地域防災計画において、減災の考え方とコミュニティーの視点も盛り込んでいくことにしている。

問 県道の整備はどう進めていくのか。

答 南関大牟田北線及び勝立三川線は県に整備の要望を行っている。大牟田高田バイパスは県において地元協議中であり、今後も県や地元と調整し、整備を促進したい。

問 近代化産業遺産を活用したまちづくりプランをどう展開し、実現していくか、具体的な取り組みを聞きたい。

答 施設を身近に感じるような取り組みが重要である。多くの方が参加できる仕組みが必要で、市民・団体・事業所等の参画が得られるよう、組織づくりを進めていく。

問 買物難民、交通弱者対策としての出張商店街の展望及びバス路線減への対策を聞きたい。

答 出張型商店街事業は15カ所を実施。意見等を踏まえ支援を継続したい。バス路線については、事業者と積極的に協議し、市民の利便性確保に努めたい。



おむつ給付の個別対応は？ 障害者の地域生活の充実を 官民の障害者雇用の促進を

社民・民主・護憲クラブ 古庄 和秀議員

問 3月の条例改正で、紙おむつの支給基準を見直されたが、本当に必要な方には個別に対応し、支給していくと答弁された。一連の個別対応の経過と総括を聞きたい。

答 紙おむつの支給基準を7月に見直したが、これまでの生活が続けられないと考えられる方には、要件にかかわらず、引き続き、紙おむつ給付を継続していく。

問 10月から障害者虐待防止法が施行されるが、本市の具体的な体制を聞きたい。

答 福祉課内に障害者虐待防止センターを設置し、市民からの障害者虐待の通報などを24時間体制で受ける。

問 来年度から市の障害者雇用率が2.3%に改定されるが、民間を牽引する立場として、職員削減前の20年度の数で計算・公表し、それを目標値とすべきではないか。

答 趣旨は十分理解し、今後、公表していきたい。17人を目標とし、可能な限り障害者の雇用確保に取り組む。



本市の歴史に欠くことのできない 三川坑跡の保存を

自由民主党議員団 入江 裕二郎議員

問 近代化産業遺産とともに三川坑跡も保存すべきと考えるかどうか。

答 三川坑跡は、まちづくりプランで拠点施設の一つとして位置づけ、保存し、次世代に継承するとともに、まちづくりに活用したいと考えている。市民意見を聞きながら、保存活用を進めていきたいと考えている。

問 九州北部豪雨に伴う三池港への漂着ごみの処理について聞きたい。

答 三池港への漂着ごみについては、港湾管理者である福岡県の責務として処理が行われることになっている。

問 有明圏域定住自立圏形成協定において、広域連携での災害廃棄物処理システム構築の考えはないか。

答 災害廃棄物処理は自区内処理が原則であり、協定項目には掲げられていないが、被災規模によっては県に調整を要請し、他自治体の協力を得て処理することになる。



健康づくりで社会に貢献できる 健康ポイント制度の創設を

公明党議員団 今村 智津子議員

問 兵庫県豊岡市では、健康ポイント制度を昨年8月から始めている。これは、日常の運動や健康診断、人間ドックの受診、予防接種といった健康づくりの実績に応じてポイントを付与し、たまると換金して市内の保育園・幼稚園・小中学校などへの寄付や、市の温泉施設や運動施設の利用券と交換できる制度である。

本市でも、病気の予防や早期発見、早期治療につながる行為にポイントを付与する健康ポイント制度を創設し、独自の企画を考えてはどうか。

答 同制度は、健診の受診やスポーツを含めた健康づくり事業の参加者をふやすなど、市民の健康づくりの意識を高める方法の一つとして取り組まれている。他自治体における制度の内容やその効果など、今後の検討課題としたい。



手鎌南川河川改修工事の 早期再開を

自由民主党議員団 森 竜子議員

問 手鎌南川河川改修については、25年度の予算確保のためにも、早急に地元説明会を開催すべきではないか。

答 早ければ年内に説明会を開催し、調節池の整備に対する地元関係者の理解をいただきたいと考えている。

問 新大牟田駅の観光情報発信等施設は、誰のためにつくるのか。出入口の設定等、見直しが必要ではないか。

答 観光振興を図る観点から、駅利用者の利便性を高めることを第一の目的としている。外から施設への直接の出入りについては、可能性を検証したいと考えている。

問 いじめ問題は、未然防止も重要だと考えるかどうか。

答 現在行っているさまざまな取り組みを充実させ、未然防止、早期発見、早期対応に努めたいと考えている。

問 25年度以降のスクールソーシャルワーカーの配置・拡充の検討について聞きたい。

答 国・県の動向等を注視し、検討を進めたい。



本市のいじめの現状と対策

自由民主党議員団 山口 雅弘議員

問 子供たちは皆が同じではなく、姿も能力も全員が違
うことを理解させ、身体的優位性を持ちながら危害を加
えるというのは、いじめではなく犯罪だということの子
供たちに教えてほしい。本市におけるいじめの認知件数
と、その対策はどうなっているか。

答 県内でも以前、城島町、筑前町で同様のいじめによ
る事件がおきた。本市ではそれ以降、未然の防止、早期
発見、早期対応のために二十数項目にわたるアンケート
をとり、データ処理できるシステムをとっている。子供
たちの4段階での回答をデータベース化し、ある程度数
値化しており、いじめの兆候がある、可能性があるなど
もあらわれてくる。さらに、教師もアンテナを高く張り、
未然防止に努めている。いじめは、18年度をピークと
して毎年減り、23年度は小学校、中学校ともに6件で、
計12件だったが、全て解消している。

インフォメーション

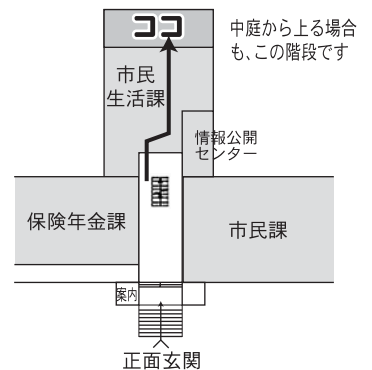
■ 次の定例会は12月です

詳細については、11月上旬に議会事務局へお問い合
わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■ 傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができま
す。議場は市役所本庁舎
3階にあります。議場
から傍聴席へ直接行くこ
とはできません。傍聴席
へは、本庁舎中庭入口(1
階)または市民生活課(2
階)奥の階段からお上
りください。(右図参照)

傍聴席への階段の位置(本庁舎2階)



■ 会議録の閲覧

本紙掲載の代表及び一般質問は、質問した議員自らが
要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開セン
ターで会議録をご覧ください。12月上旬から閲覧できま
す。ホームページでも12月上旬から検索・閲覧できます。

トピックス

「世界一元気な高齢者」106歳の昇地三郎さんの講演から学んで

しょうち



大牟田市健康づくり市民大会が9
月8、9日に開催されました。今年
の講師は、福岡県下の男性最高齢
106歳の昇地三
郎さん(養護施
設「しいのみ学園」の創設者)です。
赤いマントでさっそうと登場し、パ
ソコンを使って講演されました。

「私のそばにはなぜか美女が寄っ
てくる」などと会場を楽しい笑いに

包みながら講演され、最後には
黒田節の踊りまで披露されました。

楽屋でもお話を伺いましたが、
先生の頬はそばで拝見しても本
当につやつやでした。今でも、
たくさんの外国語を学んであら
れる向学心にも脱帽です。また、



昇地流「十大健康」

- 一、笑顔・ユーモア
- 一、冷水摩擦
- 一、祈る・感謝
- 一、一口三十回噛む
- 一、棒体操
- 一、語学講座の勉強
- 一、新聞を読む
- 一、口八丁
- 一、日記を書く
- 一、上向きに寝る

棒体操用のやる気棒や
養護施設のおもしろ教
材など、創造力豊かな
一面も紹介されました。

さらに、7月16日か
ら32日間、「公共交通

機関を利用して世界一周をした高齢者」としてギネス世
界記録にも認定されたとのこと。驚きのスーパーマンです。

大牟田市の高齢化率は、9月1日現在、30.5%。全国
平均より10年早く高齢化が進んでいます。それにつれ、
本市の医療費も増え続けていることが大きな課題の一つ
にもなっており、今年度、国民健康保険税や介護保険料
も値上げせざるを得なくなりました。

高齢になっても、健康でいろいろな楽しみや生きがい
を持てることは、自分自身にとっても、周りの人にとつ
ても幸せなことですね。昇地先生に学ぶ健康法、皆さん
もできることから実践してみませんか。

いきいき健康長寿の
大牟田をめざそう





「食のまち おおむた」で地域おこしに頑張る学生たち —地域の大人も子どももお年寄りもつながるつながる—

連載
おおむた自慢



おおむたの街を元気にしたい、地域のために自分たちもなにかやりたい——学生たちが、大牟田の「食」をテーマに様々な地域おこしの活動を展開しています。



今回は福岡県立ありあけ新世高校のてっぱん部のみなさんと、大牟田市立白光中学校のHAKKOクッキー社のみなさんの活動をご紹介します。

「地域のために、大牟田のために」

ありあけ新世高校 てっぱん部

「大牟田名物お好み焼きを通して、地域おこしを」と子どもたちのアイデアで動き始めた活動。今や、てっぱん部の活躍は有名になりました。学園祭や各地のイベントに出店していくなかで、「たくさんの地域住民の方や、協力していただく大人の人たちとの関わりができました」と生徒さん。「この活動をしていると、大人の人たちの地域にかけける思いが強いことを感じる」「てっぱん部だけが有名になればいいというわけじゃない」と他の高校や中学にも足を運び、いろんな企画を一緒にやろうと呼びかけもしています。

「地域のために、大牟田のためになにかしたいと思っている人はたくさんいると思う。自分たち高校生の活動



創立10周年記念文化祭でも大盛況!! (10月8日)



が、思いを行動に一步踏み出す勇気になればいいな」と話すてっぱん部のみなさんがまぶしかったです。

〈てっぱん部出店予定〉■11月3日 三池港浪漫フェスタ2012(三池港)
■11月10・11日 第44回大牟田ガスグループ・ガス展(大牟田文化会館)



MAX学盛祭でも限定クッキーを販売(8月19日 銀座通商店街)

「地域とのつながりを強め、よいまちづくりを」

白光中学校 HAKKOクッキー社

大牟田らしいクッキーを売って、大牟田市の活性化の役に立ちたい!と、生徒たちが、商品開発や販売を行い、その販売益を東日本大震災や7月の福岡県豪雨災害の義援金にあてています。プロの職人の協力を得ながらオリジナルクッキーの商品開発を行い、地域の福祉施設のおやつにも採用されるなど、子どもたちの活躍が地域を支えています。

「地域とのつながりを強め、よいまちづくりをしたいと思う。」大人へのエールでもあると思います。